

二十四年七月二十七日... 倭寇... 經正... 政... 治... 中... 中... 中...

明治十三年十二月廿八日 開拓長官... 大政大臣三條實美殿

清隆長女^二子^{ちよ}代義^{あや}... 病氣... 變... 卷... 年... 卯有... 九日... 午... 時... 二十... 分... 死... 去... 致... 以... 卯... 七... 歲... 未... 滿... 年... 建... 事... 申... 申... 一... 日... 其... 子... 為... 汝... 以... 此... 以... 為...

清隆長女也

以隆十三年一月三十日

陸軍中將兼參謀總長官黑田清隆

東京皇宮具禮殿

臣清隆 不肖北海道開拓ノ任ヲ辱フセシヨリ以來
夙夜孜ミ犬馬ノ力ヲ盡シテ以テ報效ヲ圖ラント
欲スル茲ニ十年百事未々成ルト謂フ可ラスト
雖モ興業殖産ノ事ニ至ツテハ其基礎稍成リ
目的既ニ定ル其將來國家ノ鴻益ヲ興スヤ臣ノ
信シテ疑ハサル所ナリ 臣伏シテ惟ミルニ方今ノ形
勢積年國家内外多事財用不貲ノ後ニ際シ上國
帑ノ空耗ヲ憂ヘ下貨財ノ壅塞ニ困シム日一日ヨリ
甚シク其勢滔々乎トシテ底止スル所ヲ知ラサルカ如
シ財政ノ困難其レ是ノ如シ世ノ其原因ヲ論スル者其
說種々ナリト雖モ畢竟輸出入其卒ヲ失フニ外
ナラサレハ之ヲ救フノ道ハ輸入ヲ制シ輸出ヲ増シ以テ
其權衡ヲ得セシムルヨリ急ナルハナシ蓋シ目下民